

近畿圏広域計画検討会議 第7回幹事会

1. 開催日時：平成19年9月25日（水） 14:00～16:00

2. 場 所：大阪合同庁舎1号館 第1別館2階 大会議室

3. 出席者：別紙参照

4. 議事要旨

(1) 「近畿圏の目指す姿」について

- ・「近畿圏の目指す姿」については、戦略を検討する過程で必要があれば見直していく。

〈各機関から出た意見〉

◇「3. アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点」について

- ・京阪神都市圏が関西の人・モノ・情報・経済を牽引するという内容について、京阪神都市圏以外の地域にとっても特に異論はないようだが、京阪神都市圏のみ偏重しているという誤解を招くので表現を工夫すべき。

◇「4. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域」について

- ・地球温暖化防止については目指す姿にも記述すべき。
- ・山から海までの一貫した土砂管理について、近畿圏に対象となる流域圏がなければ削除すべき。

◇「5. 都市と自然の魅力を日常的に享受できる圏域」について

- ・農山漁村は多面的な機能を前提とした記述の方が良い。

◇その他

- ・目指す姿の語尾は「圏域を目指す」「圏域を形成する」という記述がよい。
- ・物流などは今後戦略を検討する過程で、目指す姿に記載するか検討する。

(2) 「戦略」「主要事業・制度」について

- ・「戦略」「主要事業・制度」については各機関に意見を提出してもらい、とりまとめる。

〈各機関から出た意見〉

◇戦略全体について

- ・国のあり方、圏域のあり方として、日本海側の位置づけと明確にし、積極的な整備を戦略に明示し盛り込む必要がある。

- ◇「1. 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育む圏域」について
 - ・ 世界に発信するという観点は戦略に含めるべき。
 - ・ 文化財の記述はあるが、文化そのものの記述がない。
 - ・ 「文化首都」「歴史都市」について、「戦略」に明記すべき。

- ◇「2. 首都圏とは異なる多様な価値が集積するもう一つの中心核」について
 - ・ 文化行政の拠点や文化外交の場になる観点があっても良い。
 - ・ 多様な主体の競争と協調について、圏域内のガバナンスの検討が必要。
 - ・ 日本海側の果たすべき役割や位置づけを明確に記述してほしい。

- ◇「3. アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点」について
 - ・ 人の創造や人流の観点をもっと盛り込むべき。
 - ・ 大阪湾エリアは物流拠点だけでなく、産業拠点でもあるという表現にすべき。
 - ・ 北東アジアとの交流窓口として、日本海側の果たす役割を明確に位置づけるべき。

- ◇「4. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域」について
 - ・ 自然環境の再生に関する戦略を盛り込むべき。
 - ・ 大気、水質、物質の改善などの基本的な内容は記述すべき。

- ◇「6. 人々が自律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域」について
 - ・ 治安に関する戦略を盛り込むべき。
 - ・ 高度医療等について、圏域を超えた広域での対応とそのための条件整備の視点を取り入れるべき。

- ◇項目7について
 - ・ 日本海側及び京阪神と日本海側を結ぶ交通網等の社会資本整備について、災害に強い近畿圏及び日本の国土政策として表記すべき。

- ◇その他
 - ・ 「近畿圏の目指す姿」と「戦略」の項目立ての整合性を図るべき。
 - ・ 「近畿圏の目指す姿」と「戦略」の内容について、目標と手段との観点から改めて整理すべき。

(3) その他

- ・ 「近畿圏広域計画検討会議」委員・幹事名簿の変更について